

楽天証券×楽天銀行口座連携サービス「マネーブリッジ」、 自動入出金（スイープ）機能が米国株式取引に対応

・米国株式の購入時にも証券口座への入金手続き不要で、銀行口座から自動入金・

楽天証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：楠 雄治、以下「楽天証券」）と楽天銀行株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：永井 啓之、以下「楽天銀行」）は、2021年4月4日（日）注文分^{*1}より、両社の口座連携サービス「マネーブリッジ」の自動入出金（以下「スイープ」）機能の対象商品を拡充し、新たに米国株式取引（円貨決済）^{*2}にもご利用いただけるようになったことをご知らせいたします。

「マネーブリッジ」は、楽天証券と楽天銀行の口座連携サービスで、2021年1月時点で200万人を超えるお客さまにご利用いただいています。両口座をお持ちであればどなたでも無料でお申し込みが可能で、設定が完了すると、楽天銀行の普通預金に年0.10%（税引き後 年0.079%）^{*3}の優遇金利が適用されるなど様々な特典が利用できるようになります。今回、米国株式取引においても利用可能になった「マネーブリッジ」のスイープ機能は、証券口座で株式や投資信託など^{*4}を注文する際に自動的に銀行口座から資金が移動し、売却（返済）後に証券口座に現金が入ると自動的に銀行口座に資金が移動する利便性の高い機能です。

昨今、米国株式投資への注目が高まる中、楽天証券は、2020年2月に米国株式の注文受付時間を大幅に拡大、2020年4月末にはスマートフォン向けトレーディングアプリ「iSPEED[®]」に米国株式取引機能を追加し、主要ネット証券で初めて^{*5}、国内株式・米国株式の取引を1つの画面で行えるアプリの提供を開始するなど、米国株式取引のサービスの拡充に取り組んできました。その結果、2020年の楽天証券の「米国株式」サービスは、約定件数が前年比11倍、お取引されたお客さま数が同5倍になるなど、急成長を遂げています。

このたび、かねてより多くのご要望をいただいていた米国株式取引の「マネーブリッジ」のスイープ機能への対応により、入出金手続きが不要となり、これまで以上にスムーズに米国株式をお取引いただける環境が整いました。また、本対応に加え、証券口座内の日本円／米ドルの両替サービス「リアルタイム為替取引」の時間帯を大幅に拡大し、朝8時から翌朝6時^{*6}の間、いつでも両替が可能になりました。今後も、お客さまのニーズにお応えするため、継続的に米国株式における取引環境の改善を行っていく予定です。

両社は、「マネーブリッジ」をはじめ、「楽天エコシステム（経済圏）」の強みを活かした連携サービスを展開し、楽天証券は2020年12月に前年同期比35%増となる500万口座を、楽天銀行は2021年1月

に国内インターネット銀行で初となる 1,000 万口座^{※7} を突破するなど、顧客基盤を拡大しています。オンラインでの取引が完結できる両社のサービスは、場所を選ばずいつでも利用可能なため、新型コロナウイルス感染症拡大予防における外出自粛時や新しい生活様式においても、多くのお客さまに継続的にご利用いただいています。

楽天証券および楽天銀行は、楽天グループの強みを活かしたサービスの連携を図ることで、従来のインターネット銀行やインターネット証券にはない、付加価値の高いサービスをより多くのお客さまに提供してまいります。

■ 「マネーブリッジ」のイメージ



■ 「マネーブリッジ」について

- 優遇金利の適用：楽天銀行の普通預金金利が年 0.10%（税引き後 年 0.079%）^{※3}に
- スweep機能でシームレスなお取引が可能に
 - ・ 楽天証券でのお取引^{※4}時の不足金を楽天銀行の預金残高から自動入金
 - ・ 楽天証券口座にある資金を、毎営業日夜間に楽天銀行へ自動出金、出金された資金は優遇金利が適用される普通預金へ自動預け入れ
- ポイントが貯まる：楽天銀行の「ハッピープログラム」^{※8}にエントリーすると、楽天証券のお取引に応じて「楽天ポイント」が貯まる

「マネーブリッジ」の詳細についてはこちらをご覧ください

<https://www.rakuten-sec.co.jp/web/bank/>

<https://www.rakuten-bank.co.jp/assets/intermediation/moneybridge/>

※1：パソコンからは、4月4日（日）注文分より、「iSPEED[®]」からは、4月12日（月）より利用可能（夕方ごろに App Store、Google Play ストアへの公開を予定しております）。

「MARKETSPEED[®]」からの注文は適用外

※2：楽天銀行の外貨預金口座からの自動スweepはご利用いただけません

- ※3：2021年4月5日現在。本金利は前月末時点で「マネーブリッジ」の設定が完了されているお客さまに、当月1カ月間適用する優遇金利です。普通預金金利は変動金利です。今後、金融情勢等により予告なく変更する場合があります。普通預金（「マネーブリッジ」利用者）商品詳細説明書は、楽天銀行のウェブサイトをご覧ください
- ※4：自動入出金の適用商品は、国内株式・信用取引・米国株式（円貨決済）・投資信託（積立を含む）・円建て債券・楽ラップ・IPO/PO、金・プラチナ・銀となります
- ※5：主要ネット証券（口座数上位5社：auカブコム証券、SBI証券、松井証券、マネックス証券、楽天証券（五十音順））で比較（2021年4月5日現在、楽天証券調べ）
- ※6：システムメンテナンス時間などを除く、朝8時から翌朝6時（サマータイム時は翌朝5時）
- ※7：2021年1月19日現在、楽天銀行調べ。解約済み口座数を除きます
- ※8：楽天銀行のお客さま優遇プログラムです

以上

【手数料等およびリスクの説明について】

楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ウェブサイトの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページ（<https://www.rakuten-sec.co.jp/web/company/risk.html>）に記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社（楽天証券ウェブサイト：<https://www.rakuten-sec.co.jp/>）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

商号等：楽天銀行株式会社（楽天銀行ウェブサイト：<https://www.rakuten-bank.co.jp/>）

登録番号：登録金融機関 関東財務局長（登金）第609号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会